

平成21年11月9日

各位

上場会社名 ローム株式会社
 代表者 取締役社長 佐藤 研一郎
 (コード番号 6963)
 問合せ先責任者 取締役 経理本部長 佐々山 英一
 (TEL 075-311-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	350,000	22,000	22,500	10,000	91.27
今回発表予想(B)	334,000	16,000	14,000	6,000	54.76
増減額(B-A)	△16,000	△6,000	△8,500	△4,000	
増減率(%)	△4.6	△27.3	△37.8	△40.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	317,140	10,540	18,544	9,837	89.76

修正の理由

当期における経営環境は、当第2四半期連結累計期間まで、期初予想より堅調に推移したものの、世界的に雇用情勢が引き続き悪化の方向にあるなど景気回復に向けてまだ時間を要すると考えざるを得ない状況にあります。エレクトロニクス業界におきましても、各国政府の景気刺激策により、薄型テレビなど一部の家電製品市場は堅調に推移したものの、継続した消費の回復には結びついておらず、下半期の市場見通しは極めて厳しい状況となっております。従来よりロームグループでは海外市場における新規顧客の開拓と新製品のラインアップの強化に努めており、海外携帯電話メーカー向けのLSIの採用が増加傾向にあるなど一定の効果を表しつつあるものの、既存分野における市場の低迷、縮小の影響は大きく、下半期は期初に想定しておりました売上見通しを下回ると予測されます。また、このほどMEMS加速度センサの世界第3位のサプライヤであるカイオニクス・インク(Kionix, Inc.)を総額約210億円で買収することを決定し、下半期には、この買収に伴うのれんの償却負担が見込まれます。

このような状況を踏まえ、通期業績予想につきまして、上記のとおり修正いたします。

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上